

平成30年度こうちふるさと寄附金活用事業(実績)

◇ 平成29年度に頂きました499件、29,371,597円のご寄附は、下記の平成30年度の事業(4分野11事業)に活用させていただきました。 ※基金の運用益等も活用しているため、平成29年度の寄附額とは一致しません。

<分野1 こうちの「山」「川」「海」の環境を守り育てる>

○清流保全計画指標モニタリング事業 (373千円)

物部川及び仁淀川の清流保全の取り組みの達成状況を把握するため、水生生物の生息状況や透明度などに関する調査を実施するとともに、得られた結果を流域の小中学生の環境学習に活用しました。

○外来種リスト作成事業 (1,505千円)

外来種駆除、防除のための基礎データとしての活用が期待できる「高知県の外来植物2019」を作成しました。また、地域住民の方々と連携して特定外来生物(植物)の駆除を行いました。

○種苗放流委託料 (3,426千円)

資源豊かな河川環境を復活させるため、国際自然保護連合の絶滅危惧種に指定されている「うなぎ」の種苗を県内17河川に30,000尾放流しました。



<分野2 ふるさとの文化と子どもたちを守り育てる>

○思春期相談センター事業 (1,917千円)

思春期の子どもたちが気軽に立ち寄ることができるよう「思春期相談センターPRINK(プリンク)」のオープンスペースに図書や教材、机などを設置し、来所する小中高生の増加につなげることができました。

○ふるさと教育推進事業 (998千円)

各地域に受け継がれてきた歴史や文化を学ぶ「ふるさと学習」を地域と学校が連携して実施し、郷土の偉人や地域に対する子どもたちの理解を深めることができました。

○全日制高等学校費 (100千円)

中村高等学校で新たに楽器を購入しました。学内行事にとどまらず、各種コンクールや地域の演奏会などに参加することで、生徒のモチベーションの向上や頑張る力につながっています。

○図書館活動費 (1,000千円)

昨年7月に開館した「オーテピア高知図書館」において、10代の若い人たちが読書を通じて将来を考えるきっかけとしてもらうために設置している「ティーンズ・コーナー」の図書や、学校図書館への貸出図書を購入しました。



<分野3 龍馬がふるさと「高知」を盛り上げる>

○博覧会推進事業費 (2,293千円)

平成29年3月から平成31年1月まで「志国高知 幕末維新博」を開催し、県内外からの観光客の誘致に取り組みました。県内25の会場には334万人超の方々にお越しいただくなど、県内各地の賑わいの創出などにつながりました。



<分野4 元気あふれるこうちをつくる>

○発達障害児支援体制強化事業費補助金 (3,000千円)

発達障害のある子どもや発達障害が疑われる子どもへの支援を推進するため、新たに「児童発達支援センター」の開設や保育所への訪問支援などを行う法人に対して助成を行いました。

○地方創生アイデアコンテスト事業実施委託料 (1,923千円)

県内在住の学生を対象として地域を元気にするアイデアを募集する「高知家地方創生アイデアコンテスト2018」を開催し、若者の地域への関心を高めることにつながりました。

○集落の活かづくり支援事業費補助金 (12,840千円)

集落の活性化、地域の経済活動の推進や生きがいつくりの創出など、住民の皆様が主体的に取り組む事業(県内8地域)に対して支援を行い、多世代間の交流のきっかけづくりや交流人口の拡大などにつながることができました。



災害支援寄附に対する御礼

平成30年7月の豪雨災害に際しましては、多くの皆様から心温まるご寄附をいただき、感謝を申し上げます。皆様からのご寄附は被災された県民の皆様を支援するため、以下の事業に有効に活用させていただきました。

○生活用水確保支援事業 (19,875千円)

7月の豪雨災害で大きな被害を受け、断水や濁水など日常生活に支障を来していた地区の生活用水を確保するため、給水施設等の復旧工事(3市町内6ヶ所)を実施しました。